

コロナ禍でも必要な受診を！

～過度な受診控えは健康リスクを高めます～

新型コロナウイルスに感染する心配から、医療機関への受診を控える傾向が強くなっています。しかし、過度に受診を控えることは、健康上のリスクを高めることにつながります。また、発熱や咳、腹痛などの症状は、新型コロナウイルス感染症だけに生じる症状ではありません。必要な受診を控えると最適な治療が受けられなくなる可能性があります。

適切な受診で、心身の健康管理を心がけましょう。



◎コロナ禍でも持病の治療や予防接種・健診等の健康管理は大切です。

1 定期受診しましょう

自己判断で、定期通院や服薬を中断すると、持病の悪化や合併症を引き起こすことにつながります。また、新型コロナウイルスに対する抵抗力を弱めてしまうことにつながります。



2 健診(検診)を受けましょう

定期的に健診やがん検診を受けることが生活習慣病の予防や、がんの早期発見・早期治療につながります。

3 予防接種はタイミングを逃さずに受けましょう

予防接種は受けるタイミングが重要です。接種期間内に忘れずに受けましょう。



4 まずはかかりつけ医に相談しましょう

具合が悪いなど健康に不安があるときは、まずかかりつけ医に相談しましょう。



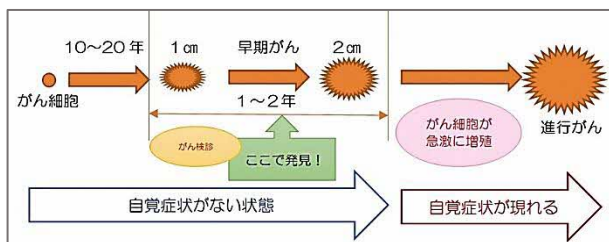
*医療機関では、院内感染ガイドラインに基づき、感染対策に取り組んでおり、わかりやすいマークや自主的ガイドラインにより、しっかりした感染予防対策が行われています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で
がん検診の受診者が減少しています！



コロナが
心配

一般的に、早期発見ほど治り、発見が遅れるほど治療が困難となります。



※ 参考：厚生労働省、日本対がん協会、日本医師会HP

福利課健康支援係
電話：011-231-4111(内線：35-380)

もしかして、控えてませんか？

- かかりつけ医への相談
- 乳幼児健診・予防接種
- 生活習慣病の健診・受診
- がん検診



乳幼児の予防接種を遅らせると、免疫がつかのが遅れ、重い感染症になるリスクが高まります。
また、生活習慣病やがんの早期発見には、定期的な健診と適切な受診が重要です。健康が気になる今だからこそ、かかりつけ医に早めに相談し、健診は予定どおり受けましょう。

